

小学校外国語教育における次期学習指導要領改訂に向けた 教材活用に関する検証の進め方等について（たたき台）

英語教育強化地域拠点事業における拠点校、研究開発校、その他先進的な取組を行う学校に対して、以下のような取組に関する成果、課題、及び効果的な教材の内容・活用の在り方などについて検証を行う。

小学校高学年

○ 以下の指導に関する項目について、検証を行う。

- ①ねらいの達成状況
- ②活用した教材について、児童の反応、様子など
- ③活用した教材について、成果や課題、今後の方向性など

1. アルファベットの文字の認識を深める指導(例)

- ・アルファベットの発音をする
- ・アルファベットの文字と読み方を一致させる
- ・アルファベットの文字を書く
- ・その他（ ）

2. 単語の認識を深める指導(例)

- ・単語に見慣れる
- ・単語をなぞる
- ・英語において発音と綴りの関係に気付く
- ・単語を読む
- ・単語を書き写す
- ・その他（ ）

3. 日本語と英語の音声の違いやそれぞれの特徴への気付きを促す指導(例)

- ・音の違いに気付く・アルファベットには読み方と音があることに気付く
- ・英文を書く際には、単語と単語の間にスペースを置くことに気付く
- ・日本語と英語では、句読点やその打ち方に違いがあることに気付く
- ・その他（ ）

4. 日本語と英語の語順の違いやそれぞれの特徴への気付きを促す指導(例)

- ・日本語と英語では語順が違うことに気付く
- ・英語では、意味(内容)を表す語順が決まっていることに気付く
- ・その他 ()

5. 定着を目指し、語彙や表現などを繰り返し活用した言語活動をする

6. 定着を目指し、自分の考えや気持ちなどを聞き手を意識しながら伝えようとするコミュニケーション活動をする

等

小学校中学年

○ 以下の指導に関する項目について、検証を行う。

- ①ねらいの達成状況
- ②活用した教材について、児童の反応、様子など
- ③活用した教材について、成果や課題、今後の方向性など

1 積極的にコミュニケーションを図るための指導

- ・外国語を用いてコミュニケーションを図る楽しさを体験する
- ・積極的に外国語を聞いたり、話したりする
- ・言語を用いてコミュニケーションを図ることの大切さを知る
- ・その他 ()

等

2 日本と外国との言語や文化について、体験的に理解を深める指導

- ・外国語の音声やリズムなどに慣れ親しむ
- ・日本語との違いを知り、言葉の面白さや豊かさに気付く
- ・日本と外国との生活、習慣、行事などの違いを知り、多様なものの見方や考え方があることに気付く
- ・異なる文化を持つ人々との交流等を体験し、文化等に対する理解を深める
- ・その他 ()

等

※ 赤字が昨年度より新規となるもの。

※ 検証の対象となる教材については、高学年同様、Hi, friends!児童用テキスト、Hi, friends!デジタル教材、補助教材(文部科学省作成絵本 In the Autumn Forest)、補助教材(文部科学省作成絵本 Good Morning)、独自教材、内容等を想定。